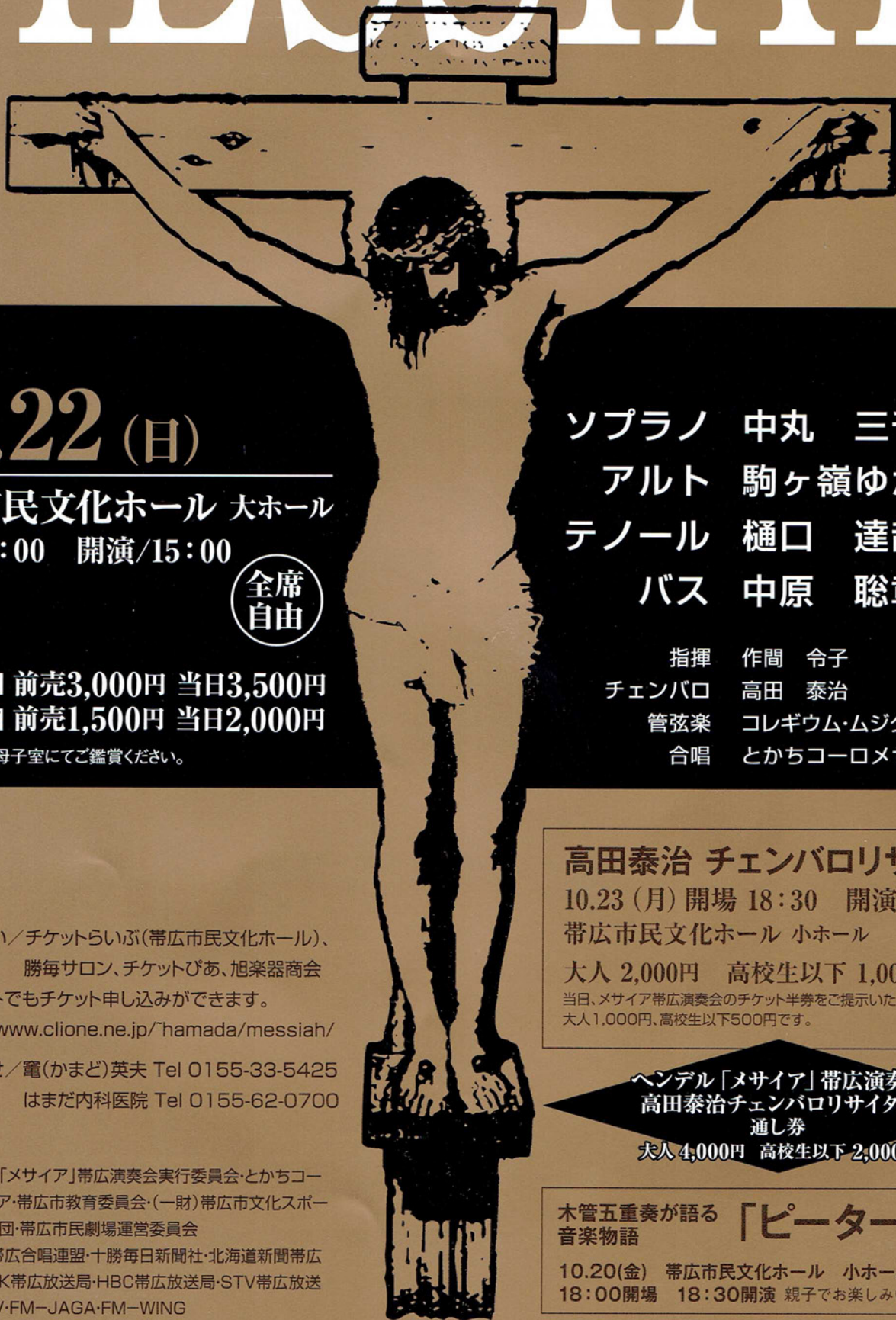


MESSIAH

古楽器による
ヘンデル

「メサイア」

帯広
演奏会



10.22 (日)

帯広市民文化ホール 大ホール
開場/14:00 開演/15:00

全席
自由

入場料

大人 前売3,000円 当日3,500円

高校生以下 前売1,500円 当日2,000円

※未就学児は母子室にてご鑑賞ください。

ソプラノ 中丸 三千繪
アルト 駒ヶ嶺 ゆかり
テノール 樋口 達哉
バス 中原 聡章

指揮 作間 令子
チェンバロ 高田 泰治
管弦楽 コレギウム・ムジクム・テレマン
合唱 とかちコーロメサイア

チケット取扱い/チケットらいぶ(帯広市民文化ホール)、
勝毎サロン、チケットぴあ、旭楽器商会
インターネットでもチケット申し込みができます。

<http://www.clione.ne.jp/~hamada/messiah/>

問い合わせ/電(かまど) 英夫 Tel 0155-33-5425
はまだ内科医院 Tel 0155-62-0700

主催/ヘンデル「メサイア」帯広演奏会実行委員会・とかちコー
ロメサイア・帯広市教育委員会・(一財)帯広市文化スポ
ーツ振興財団・帯広市民劇場運営委員会
後援/帯広市・帯広合唱連盟・十勝毎日新聞社・北海道新聞帯広
支社・NHK帯広放送局・HBC帯広放送局・STV帯広放送
局・OCTV-FM-JAGA-FM-WING

高田泰治 チェンバロリサイタル

10.23 (月) 開場 18:30 開演 19:00

帯広市民文化ホール 小ホール

大人 2,000円 高校生以下 1,000円

当日、メサイア帯広演奏会のチケット半券をご提示いただいた方は、
大人1,000円、高校生以下500円です。

ヘンデル「メサイア」帯広演奏会
高田泰治チェンバロリサイタル
通し券

大人 4,000円 高校生以下 2,000円

木管五重奏が語る 「ピーターと狼」
音楽物語

10.20(金) 帯広市民文化ホール 小ホール 入場無料
18:00開場 18:30開演 親子でお楽しみいただけます。

「メサイア」は動きのないオペラ

メサイアは、キリストの生誕、受難、復活という三つの出来事を音楽にしたもので、宮廷音楽や教会音楽ではなく、庶民向けのオラトリオ（動きのないオペラ）です。初演は1741年、日本では第8代将軍徳川吉宗や大岡越前が活躍していた時代です。

大変有名な「ハレルヤコーラス」は、時の国王ジョージ2世が立ち上がって拍手を送ったという逸話があり、「スタンディングオペレーション」の始まりと伝えられています。

ヘンデル（1685-1714）は、謹厳実直で緻密な同時代のバッハとは対照的に、明るく大らかな性格だったようです。3時間にも及ぶこの曲をたった24日間で作曲したと言いますから驚きです。今回の演奏会は2時間程度の抜粋でお届けします。

古楽器演奏の魅力

今回オーケストラは古楽器を使います。トランペットはピストンがついていませんし、木管楽器はキーがついていません。弦楽器は金属弦でなくガット弦（羊の腸が素材）を用いるのでシンプルな音色です。コレギウム・ムジクム・テレマンはこの古楽器演奏を行う、日本では貴重なオーケストラです。ヘンデルが活躍していた当時の、素朴でどこか懐かしさの感じられる音色が再現されるのも今回の演奏会の魅力です。

合唱団一高い完成度をめざして

合唱団は公募で結成されました。総勢約120名です。最高齢は85才、最年少は29才、合唱がまったく初めての人もいます。完成度の高い音楽をめざしてみんなで助け合い、一年間練習を積み重ねてきました。みなさんのお知り合いの方の真剣に歌っている姿が見られるかもしれません。ぜひ応援しながら鑑賞下さい。

Profile



ソプラノ 中丸 三千緒

1986年小澤征爾指揮による新日本フィルハーモニー交響楽団『エレクトラ』で日本デビュー。1987年『ラ・ボエム』でヨーロッパデビュー。1989年にはパヴァロッティと共演し米国デビュー。1990年「マリア・カラス・コンクール」ではイタリア人以外で初めて優勝し、現在でも唯一の日本人優勝者。プラシド・ドミンゴ、ローリン・マゼール、ケント・ナガノ、ムーティ等と共演しミラノスカラ座をはじめ国際的に活動。2015年プラハ国立歌劇場「椿姫」にて主演。2006年イタリア大統領より「コメンダトーレ章」を叙勲。2016年～広島大学 教育学部 客員教授。



アルト 駒ヶ嶺 ゆかり

札幌出身。1998年よりフィンランドにて、館野泉氏、マリア・ホロバイネン氏の許で研鑽を積む。「オウルンサロ音楽祭」「シベリウスフェスティバルin JAPAN」をはじめ国内外の音楽祭にてリサイタル、宗教曲のソリストを務める。帰国後「シベリウス歌曲全曲演奏会」「Nordic forest in SAPPORO」等北欧作品を核とした演奏会を開催。テレマン室内オーケストラとはこれまでに、ヘンデル「メサイア」、モーツァルト「レクイエム」、バッハ「ロ短調ミサ」を共演。札幌文化奨励賞、道銀芸術文化奨励賞、札幌市民芸術祭大賞受賞。日本シベリウス協会理事。



テノール 樋口 達也

福島県出身。武蔵野音楽大学及び同大学院修了後ミラノ留学。1998年ハンガリー国立歌劇場『ラ・ボエム』でデビュー後、ミラノ・スカラ座、MET管弦楽団等と共演。2010年ミラノ大聖堂とヴァチカンでのコンサートで大成功をおさめる。国内でも新国立劇場や二期会等で常に主演し高い評価を得る。本年2月二期会『トスカ』（ローマ歌劇場提携公演）で大絶賛を浴びる。その他『NHKニューイヤーパーオラ』『題名のない音楽会』等で活躍。イタリアの太陽を想わせる輝きのある声と華を持ちあわせた日本を代表するテノール。ソニーよりCDを二枚リリース。二期会会員。武蔵野音楽大学、東京芸術大学各講師。ホームページ：<http://www.higuchi-tatsuya.com/>



バス 中原 聡章

北海道教育大学札幌校芸術文化課程音楽コースを経て同大学院修士課程を修了。ロシア声楽曲、およびバロック期の声楽曲をレパートリーの中心とし、ベートーベン「第九」の他、ヘンデル「メサイア」、バッハ「マタイ受難曲」「ヨハネ受難曲」「ロ短調ミサ」など宗教曲のソリストとして札幌を中心に道内各地の演奏会に出演。2014年札幌音楽家協議会ハンガリー公演に参加、リスト音楽院他3会場での演奏会に出演。声楽を長内勲、野田廣志、宇田川貞夫の各氏に師事。現在、厚別混声合唱団指揮者。市立札幌開成中等教育学校芸術科音楽教諭。



チェンバロ 高田 泰治

2002年、ピアノ、フォルテピアノ、チェンバロのそれぞれの協奏曲を一夜で演奏するという公演でデビュー。2010年、ライブツィヒ・バッハ資料財団の定期演奏会にチェンバロ奏者として出演。2010年から3年にわたりモーツァルトのピアノ協奏曲全曲を、2014年にベートーヴェンのピアノ協奏曲全曲をテレマン室内オーケストラ（クラシカル楽器使用）と共に公演。

平成23年度坂井時忠音楽賞、平成28年度咲くやこの花賞音楽部門受賞。



指揮 作間 令子

広島県大竹市出身。東京芸術大学楽理科卒。帯広を中心に合唱指揮者、ピアニストとして活動する傍ら多くの後進を育てている。十勝やまなみ合唱団では、常任指揮者として定期演奏会のほか多くのステージで新しい試みにチャレンジし続け、帯広初演の曲も多い。テレマン管弦楽団とは、2000年のモーツァルト・レクイエムを皮切りに、ヘンデル・メサイア全曲演奏、モーツァルト・レクイエムの再演、バッハ・ロ短調ミサで指揮を務め、ハイドンとモーツァルトの協奏曲ではピアニストとして共演を果たしている。また、ピアニストとしてソロリサイタル、デュオリサイタル、室内楽、伴奏でもステージを踏んでいる。十勝文化奨励賞(2000年)、帯広市民劇場賞受賞(2010年)



コレギウム・ムジクム・テレマン

1963年に指揮者・延原武春が結成。延原の指揮のもとテレマン作曲「マタイ受難曲」等数々の作品を本邦初演。「第17回サントリー音楽賞」を受賞した日本初のプロオーケストラでもある。1990年バロック・ヴァイオリンのサイモン・スタンデイズをミュージック・アドヴァイザーとし、バロック楽器による演奏を始める。2006年からはクラシカル楽器による演奏を始め、2007年には同楽器によるF.J.ハイドンのオラトリオ「四季」を好演。「大阪文化祭賞グランプリ」を受賞した。2012年にはドイツよりバロック・ヴァイオリン奏者ウラ・ブンディース氏を首席客演コンサートマスターとして迎えた。